

製品

—— 御社で製作している主力製品についてお聞かせ下さい

津田社長 特装車では、ゴミ収集車、化工機では、民生バルクローリー、環境では、スクラップシャー、シュレディングプラント、一軸破碎機、RPF*プラント等が主力製品です。

その中で特徴的な商品は、ロータリープレス車という、安全で連続投入可能なゴミ収集車、剪定した木をその場でチップにする強力なチップングロータリー車、カープレスという、廃車等をその場で減容できる移動式プレス車、2.7トン、2.35トンという積載量が業界最大の、ホース1本で充填出来る（通常は液、ガスの2本です）LPGの民生バルクローリー車です。

これらは、いずれも当社のオンリーワン、ナンバーワン製品です。

—— 御社の方針、今後の抱負などについてお聞かせ下さい

会社のモットーは、「お客様とともに栄える企業」で、それには優れた

品質で、顧客の満足と信頼を得て、リピートオーダーがいただける製品とサービスを継続して提供するという品質方針を掲げ、品質の向上に努めています。

私のモットーは、執念、誠意、数字で、従業員には「執念と誠意を持って行動し、結果を数字に残すようにしてもらいたい」といつもいっています。

今まで当社は、民事再生で各方面にご迷惑、ご心配をお掛けして来ましたが、皆様のお陰でやっとここまで来ることが出来ました。これからは、技術をもっと磨き、地道に研鑽を重ねて、社会から本当に必要とされる企業になりたいと思っています。

環境問題でも、琵琶湖を抱える滋賀県の企業として、地球の環境改善に少しでも貢献したいと思っています。

*RPF (refuse plastic & paper fuel) : コンパクトで自動化された、廃プラ処理プラントの標準機

ロータリープレス車



作業性、安全性、耐久性に優れ、機構上故障が少ないとお客様から好評な車。液もれ等がないため、一般家庭ゴミの分別収集に最適

民生用バルクローリー「フジホースワン」



LPガスを安全かつ合理的にバルク供給する専用車

資源リサイクル設備

効率の高い資源リサイクルが可能



移動式廃車プレス車

効率よく輸送するためにソフトプレスする移動式の強力プレス車。廃車をわずか3分で厚さ25cm、幅190cmにプレス

人

—— 御社の従業員の特徴は

当社の製品分野では、実力のある大手企業、手強い中小企業が多数存在しており、その中で勝つためには、オンリーワン、ナンバーワン製品を作っていこうと、「業界で初」とか「業界でシェアトップ」といった当社しかないといった製品を作っており、これらのこだわりが従業員にも浸透しています。

—— 次世代教育について、御社ではどうされていますか

日頃の仕事の中で、熟練技能者が若手を教育していますが、特に定年を過ぎたベテランに嘱託として残っていただき、時間を掛けて次世代を教育するということにも力を入れています。

また、一方では、ISOに基づき、ベテランの技や感性を可能な限りマニュアル化し、作業手順を標準化して、若手でもレベルの高い仕事ができるように努力しています。



「当社にしかない製品を」と開発段階からオンリーワンを目指している



車体に載せるタンクも、ひとつひとつベテラン作業員の手で溶接されていく

NET WORK

会員会社紹介 Vol.46

オンリーワン、ナンバーワンの技術でお客様と共に栄える会社を目指す

JR琵琶湖線守山駅を降りると、目前に「富士車輛」と大きく描かれた看板が見える。それを目指し進んでいくと、周りは次第に閑静な住宅地へと風景を変える。その住宅地のとぎれた先に、富士車輛の正門が現れた。

取材／(社)日本自動車車体工業会 事務局長 橋本 茂

特徴沿革

大正14年、鍛圧機械の製造を目的に創業、その後昭和19年に富士造機株式会社を設立し、現在の大府府狭山市に本社・大阪工場を建設、鍛圧機械および鋳鉄、鉄鋼品の製造を開始した。

終戦を迎えた昭和20年、商号を富士車輛株式会社に改称し、橋梁、鉄骨、鉄塔、圧力容器、化学機器、クリーニング機器、スクラップ処理機械、塵介車等の製造販売を行い、昭和38年には、現在の本社所在地である、滋賀県守山市に滋賀工場を建設し、車輛・橋梁工場として創業を開始した。昭和48年には、廃棄物処理プラント、環境装置分野に進出し、更に平成3年からは立体駐車装置やクリーニング機の製造販売も開始した。

順調に業績を伸ばしていたものの、その後いろいろな事情が重なり業績不振となる。平成13年には民事再生法を申し立て不採算事業の整理を行った。事業を特装車、化工機、環境機器・環境プラントおよびそれらのメンテナンス・サービスの4事業に絞った。

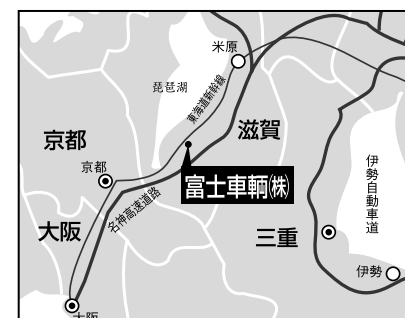
その後業務の建て直しを図り、経営資源を集約した結果、平成17年2月には民事再生手続きを終結し、今年3月期決算では、黒字化を達成した。

本年6月には、4社が保有していた自社株を役員が買い取るMEBO（マネージメント&エンployー・バイ・アウト）を実施して、自主経営に移行した。

多角化経営で養われた、「何でもや

ってやろう」というチャレンジ精神と、実績に裏付けられた富士車輛独自のオンリーワン、ナンバーワン技術で、お客様とともに栄える企業を目指して、役職員が丸一となって頑張っている。

現在は近い将来の株式の再上場を目指し、精力的に業績を伸ばしている。



富士車輛株式会社

DATA

■本社

滋賀県守山市千代町13番地1

TEL 077-583-1235

FAX 077-582-8805

■資本金 25,000万円

■従業員 200名

■事業所規模

敷地 63,900㎡

工場 32,300㎡

■車工会加入

昭和41年（特装部会）



代表取締役
津田 弘史